

北方領土新聞

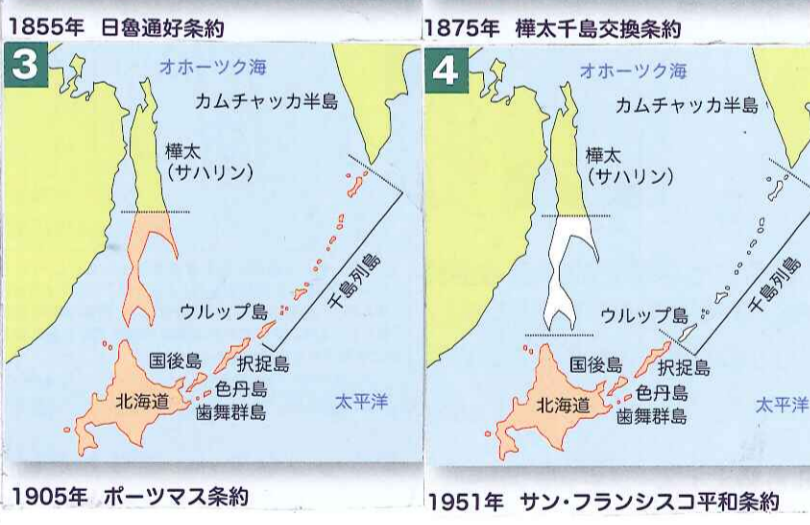
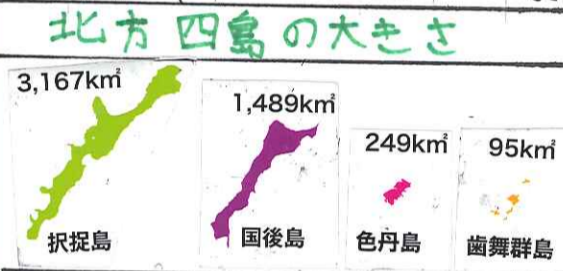
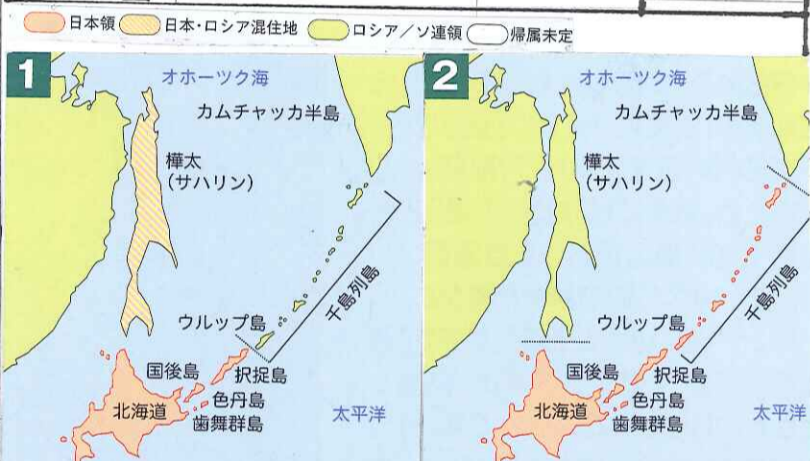
秋田県
北秋田市立
阿仁中学校

北方領土について...

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置しています。終戦時の時点で択捉島に、三千六百八人、国後島に七千三百六十四人、色丹島には千三十八人、歯舞群島は五千二百八十一人居住していました。(四島全体では、一万七千二百九十一人)しかし、ソ連は一九四六年にこの四島を一方的に自国領に編入し、当時住んでいた日本人を強制的に退去させました。現在モロツアによる法的な根拠のない占拠が続いており、近年ロシア人の生活から出た生活排水・ゴミなどによる北方四島の環境問題も問題視されています。また、根室市は、「この北方領土問題は、根室市だけの問題ではなく、日本全体の問題として考えたい」という考えをもっています。

北方領土・問題の歴史

一六三五年 松前藩が蝦夷地を探検。
一六四四年 幕府の命により地図を作成。
一七九二年 ラクスマンが根室に来航。
江戸時代 最上徳内・近藤重蔵らが大日本意登呂府という標柱を建てる



この条約で両国の国境は、択捉島とウルップ島の間になりました。
この条約で日本は、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。
日露戦争の結果、北緯五十度以南の南樺太が日本の領土となりました。
日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。

北方領土問題の経緯

元島民・河田さんのお話

僕は歯舞群島・多楽島出身の河田さんから、島から追い出された時の体験談を聞くことが出来ました。島には、終戦まで住んでいたんです。同年の七月十四日・十五日に根室がアメリカの空襲にあった。80%が焼け野原になった後、河田さん一家が根室にやむなく引、こられました。その後の根室での生活などについても、詳しく話してくれました。この地まで来てしか聞けない話を聞くことで、この島を追いやられる苦しさをはじめて感じる事ができました。

感心・想い・考え
この研修で一番心に残っていることは、北方領土の環境の悪さです。ロシア人は、日本人と違って、ゴミや生活排水を処理するのに関心がないと深く感じました。北方領土が返されなくても、環境のいい四島であってほしいです。

